

学力向上に向けた取組

函館市立旭岡小学校

1 課題

基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着
自分の考えや思いをもち、伝え合う子供の育成

2 課題解決の具体策

個に応じた指導の充実
本校児童の学習状況の把握と家庭学習の充実
朝学習タイムの実践
伝え合う喜びを味わえる指導・授業の研究と実践

3 取組の概要

について

- ・学習習慣の基本となる学習条規について共通理解を図り、児童の学習に向かう意識を高める。
- ・児童の学習の実態を実態を的確に捉え、課題の解決に向け、個々に応じた支援の手立てを工夫する。
- ・TT加配やワークシート、相互評価、ノート指導等の実践をとおして「わかる授業」を工夫する。
- ・知恵の予算を活用し、社会科見学や交流学习、また教室での指導などにおいても、体験的な学習を工夫することにより、児童の学習意欲を高めるとともに、事前事後指導も含めて、伝え合いや学び合いの機会を設定する。

について

- ・家庭学習の取り組みの共通理解を図る。(学年×10分)
- ・お便りや懇談会等で、家庭学習の習慣化を図るため、学校と家庭が連携して進めることを確認する。

週1回木曜日の朝(8:30~8:45)を朝学習タイムと定め、国語と算数の繰り返し学習を行う。(年間指導計画に位置づけ)

昨年度の「話す・聞く・わかりやすく伝える」を、今年度研修のサブテーマ「伝え合う喜び」に高めるように校内研究を推進する。

4 成果と課題

個に応じた指導を展開したことにより、学習意欲が高まり、課題解決に向かって真剣に取り組む様子が見られた。

15分間の短時間ではあったが、朝学習タイムは効果があった。更に充実させていきたい。

「わかる授業」の工夫において、TTの指導について更に効果的に指導するため校内の共通理解を図り、研修の機会をもつ必要性がある。

家庭学習の充実について、より家庭への啓発に努め、理解と協力をお願いする。